



令和4年8月26日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第20号

知ろう！学ぼう！僕らの未来！

～呉市キャリア・スタート・ウィーク（3日間の職場体験）～

8月23日（火）から25日（木）の3日間、呉市の中学2年生は「呉市キャリア・スタート・ウィーク」に参加しました。「呉市キャリア・スタート・ウィーク」とは、事業所のご理解・ご協力を得て行う3日間の職場体験のことです。新型コロナウイルス感染症のため、様々な行事を自粛したり縮小したりしていましたが、感染防止対策を確実にを行い、子供たちの学びを止めないことから、呉市では3年ぶりの開催となりました。

「呉市キャリア・スタート・ウィーク」は、子供たちの勤労観・職業観を育てたり、学ぶことや働くことの意義を理解したりすることができる貴重な体験です。そのことから、生涯にわたって学ぶことの大切さや自分の将来のことについて深く考えることにつながることができます。

今年度は、蒲刈町と下蒲刈町の多くの事業所のご理解・ご協力を得ることができ、2年生が一人ずつ別々の事業所で体験することができました。子供たちにとって、中学生は自分一人だけという環境は大変不安だったと思います。しかし、様々なことを学びながら一生懸命働くことができたと思います。

体験期間中は、校長や2年生の担当教員が各事業所へ訪問させていただき、子供たちの様子などを聞くことができました。事業所の皆様からは「よく頑張っています。」という評価をいただいたり、子供たちからは「楽しい。」という声を聞いたりすることができ、大変うれしく思っています。本当にありがとうございました。

「呉市キャリア・スタート・ウィーク」の事前学習としては、マナー講座や事前訪問などを行いましたが、今後は、お礼状の作成や今回の体験で学んだことを発表する準備などを行っていきます。子供たちは3日間をやりきった満足感や自信を付けたと思いますが、学んだことを更に確実に身に付ける事後学習を大切にしていきます。

また、子供たちの受け入れを許可していただいた事業所の皆様、実際に子供たちの体験をお世話していただいた事業所の皆様には、「呉市キャリア・スタート・ウィーク」の趣旨をご理解いただくとともに、子供たちの成長のためご協力していただいたことに感謝申し上げます。

子供たちは近い将来、社会人・職業人として自立した社会の一員にならなくてはなりません。社会体験などが少ない子どもたちは、今回の貴重な職場体験によって、働くことの喜びや厳しさを学んだり、より一層将来に夢を抱いたりしたと確信しております。

そして、「呉市キャリア・スタート・ウィーク」を終えた今、ご家庭におかれましても、子供たちの頑張りをほめていただくとともに、どのようなことを感じたり、考えたりしたのかを聞いてあげてください。更には、子供たちの将来についてもじっくり話し合っていたきたいと思えます。よろしくお願いたします。

